

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年2月10日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年2月10日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【既設多核種除去設備建屋内における歩行中のつまづき転倒による負傷について】 協力企業作業員が、既設多核種除去設備建屋内において仮設通路を歩行中、クランプ(※)につまづき転倒。救急医療室にて、右下膝挫創、左大腿打撲と診断され、処置を実施。 調査の結果、協力企業作業員が仮設足場組立作業の際、自ら仮設通路上に仮置きしたクランプにつまづき転倒したものと判明。 今後、再発防止対策を検討。</p> <p>※クランプ: 仮設足場を組む際に使用する固定金具</p>	GⅢ	1月19日